科学グループ 出張活動報告

高瀬公民館チャレンジ教室 高瀬地域公民館●7月9日（土）

7月9日（土）高瀬地域公民館で「チャレンジ教室」が開かれ、小学生らがモノ作りを楽しみました。

チャレンジする工作は、ブンブンと鳴く『ブンブンごま』。2つの絵が重なる『イリュージョンカード』。風船に翼を付けた『風船ロケット』。ボールの弾力で発射する『ぶっとびロケット』。以上4つを各自1個ずつ作りました。

材料は人数分ありますが、穴を開ける道具等は人数分ないため順番を決めて使いました。また、上手く出来ない友だちの手助けをしている様子も見られ、ただ単にモノ作りにチャレンジするのではなく、協調性を身につける教室でもあったようです。

最後のチャレンジは、自ら作ったモノで遊ぶ『ゲーム』で、『風船ロケット』を飛ばします。横1列に並んで全員一斉に発射～「飛んだ！飛んだ！」、「あれっ！」、わいワイと歓声が上がり、熱気いっぱいな子供たちでした。

科学グループ 熊谷　晃

FREA一般公開2016 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所●7月30日（土）

●梅雨明け直後、太陽光発電にはもってこいと思われし晴天下での活動となりました。真剣な顔でスポイトの目盛りを睨む子ども達の目は科学者そのものです。（山田善貴）

●建物／施設すごく立派だが、来場者が少なく宣伝不足かと…。その代わり、新エネルギーについて自分達がたくさん勉強させて頂きました。（佐久間秀子）

●ビニール袋の中でよく混ぜ合わせるときに、ぐにゅっと混ぜるのではなく、フリフリポテトのように袋を振っていたお子様もいて、それでもグニョグニョになっていたようなので、作り方も人それぞれですネ！（熊谷晃）

●イベントの宣伝不足だったのか、客足が悪かったので心配したが、トータル的には、そこそこのお客さんが有ったので安心しました。（龍修）

●ボランティア員が13名いて、準備万端で始めたのに、子供さんの参加が少なくて困りました。後半はスライム持って呼び込みした所、親子連れの方や各ブースの方々が参加して楽しんで下さいました。（龍ふじ枝）

●遠くから来られた人も多くおられ興味のあるプログラムに参加していました。私たちも休憩時に幾つかの見学をさせて頂きましたが、小学生には難しいものでした。そんな中、「S.P.Vのスライム」は、子供たちが体験できる唯一のものだったようで、小さいお子さんから大人まで、皆さんに喜んでもらえたと思います。（三澤トシ子）

●来場者が少なかったなか、子供が参加出来るコーナーは、「ぐにゅっとスライム」だけのようで、楽しんでもらえたと思います。（秋山洋子）

●子供も大人も楽しんでいただけて良かったです。産総研を初めて見て、内容と建物に驚きました。楽しかったです。（加茂けい子）

●科学と対極の世界にいる私にとって驚きエーッ！！へェーッ！！の連続でした。科学っておもしろい！！グニュグニュのスライム作りも来場された方々と童心に帰って作りました。何ともスライムの手触りに癒されました。（古張智子）

S.P.V活動情報 ～12月

●ほかに公民館など市内出張活動を予定

案　内

“昔懐かし”紙芝居（約15分）
●随時実演　☆展望ロビー（北）

ジオラマショー案内（約20分）
●11:00～、15:00～、17:00～
☆展望ロビー(東)

科　学

かんたん科学工作ほか
●土日祝　10:00～15:30
☆21階展示ゾーン入館者対象

天　文

駅前観望会
●9/10(土) 18:30～19:30 郡山駅西口駅前広場
●10/8(土) 18:00～19:00 郡山駅西口駅前広場
●11/5(土) 18:00～19:00 郡山駅歩行者連絡橋

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定　第51号 12月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています　WEBアドレス http://www.space-park.j p

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL. 02 4（936 ）0201まで

編集あとがき

☆科学グループ（山）　50号を無事迎えることが出来ました。次の節目は100号…？自分はその頃何歳になっているのでしょう！？
☆案内グループ（菅）　祝50号！今まで積み重ねてこられた方々の努力を糧（かて）に、これからも益々充実された内容でお届けしたいですね～。
☆天文グループ（鹿）　「創刊50号」響もいいし、重みもありますね。「はやぶさII」が戻ってくる頃は何号になっているのかな？
☆案内グループ（古）　今年はウルトラマン50周年！福島県もARスタンプラリーでコラボいたします！

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C004144
VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会　〒963-8002　福島県郡山市駅前2-11-1　郡山市ふれあい科学館内 TEL.024　（936 ）0201

50 ANNIVERSARY 創刊50号記念 部会特集

広報部会

創刊50号発行に寄せて

スペースパークボランティアの会（以下S.P.V）の広報誌「S.P.Vつうしん」も、今号で創刊から50号を迎えることになりました。本誌は年4回という発行ペースから、この50号を迎えるまでには12年の歳月を要しており、創刊号の発行は平成16年（2004年）7月にまで遡（さかのぼ）ります。本誌の歴史はそのまま会の歴史でもあり、本誌は、同年の会発足から東日本大震災や組織変更など内外の様々な出来事を経て今に至る、S.P.Vの記録誌とも言えるでしょう。制作を担う広報部より、50号に至る歴史を築き上げて下さった歴代の関係者各位、及び、毎号の制作にご尽力頂いている皆様に厚くお礼申し上げます。

「S.P.Vつうしん」は、活動報告やメンバー紹介、また、ボランティア各位の知識や経験を生かした小話などを盛り込み、沢山の方に気楽に手に取って頂けることを願って記事構成を練っております。会の活動を広く世間にお伝えすることを目的としておりますが、本誌を通じてS.P.Vに関心を抱いて頂き、入会や活動の問い合わせなど次に繋がる一歩となれば尚幸いです。

今後とも「S.P.Vつうしん」を宜しくお願い致します。

☆広報部会リーダー 科学グループ 山田善貴

タイトルから辿るS・P・Vの歴史

●平成16年2月
☆4グループ体制でS・P・V発足
●創刊号（16年7月）
☆S・P・Vつうしん創刊号刊行
特集「S・P・V沿革」
●第5号（17年6月）
「初の自主イベント“ボラまつり”特集」
●第9号（18年6月）
☆一部カラー印刷版にグレードアップ
●第17号（20年6月）
「星のソムリエ誕生☆」
●第19号（20年12月）
「まなびピアふくしま2008 inこおりやま駅前広場」
●第22号（21年9月）
「皆既日食in上海顛末記」
●第24号（22年3月）
「祝 まちづくりハーモニー賞 受賞」
●第29号（23年6月）
「東日本大震災」
●第30号（23年9月）
「はやぶさ帰還カプセル特別展示」
●第31号（23年12月）
「スペースパーク 祝！開館10周年」
●第33号（24年6月）
「金環日食を観察して…」
●第37号（25年6月）
☆S・P・Vつうしん全面カラー化
●第40号（26年3月）
「S・P・V10周年記念祝賀会」
「S・P・V10年のあゆみ」
「S・P・V3グループ体制に移行！」
●第41号（26年6月）
☆S・P・Vグループニュース連載開始
●第48号（28年3月）
「各グループの活動&魅力紹介」

●第37号（25年6月）

●第22号（21年9月）

●創刊号（16年7月）

●第41号26年6月）

●第34号（24年9月）

●第9号（18年6月）

※過去のS.P.Vつうしんは、右記のサイトからご覧になれます。　http://www.space-park.jp/volunteer/spv-tsushin/

創刊50号記念 部会特集

この12年間の活動を振り返って

企画部会

企画部会は役員3名で運営しています。役員会で決定した年一回の≪他館視察ボランティア研修≫の詳細を詰める事、グループ間の交流を図る事が大きな仕事です。

研修旅行は、アクアマリンふくしま（平成16・19・25年）、日本科学未来館（17年）、国立科学博物館（18年）、茨城県立自然博物館（20年）、仙台市立科学館・天文台（21年）、大洗水族館・大洗わくわく科学館（22年）、新潟県立自然科学館・水族館（22年）、鉄道博物館（大宮　24年）、山形県立産業科学館（27年）といった様々な施設を訪問し、施設見学並びにボランティアの方々と交流してまいりました。交流会のなかで意見を交換し、実情を照らし合わせたりして問題点をみつけ、日々の活動に活かしてきました。又、22年2月　福島市教育文化複合施設（こむこむ）より37名、25年11月には角田市（西根ボランティアの会）から25名来館され交流会を持ちました。

いろんな方々と接することで広い視野を持つことが出来、施設ボランティアとしてのあり方・進むべき方向を考える一助になっています。

S.P.Vボランティアの交流の場として会発足時には実施していた活動成果発表会を27年3月総会終了後に、28年3月総会終了後には茶話会を致しました。発表会では各グループの活動内容、茶話会では短い時間でしたがグループの枠を取り除いて語り合い、たのしい時間を持つことができました。

役員会の一員として会員相互の信頼と親睦を図っていきたいと思っています。

☆企画部会リーダー 科学グループ 佐久間秀子

総務部会

総務部会は、スペースパークボランティアの会（以下S.P.V）の運営が円滑に行われ、支障を生じさせない活動であり、役員会議（総務部・企画部・広報部　総勢10名）が中心になります。第1回役員会議（平成16年2月）からS.P.Vつうしん（以下つうしん）50号発行月には第138回目の役員会議となり、総会月を除き1回／月の会議を実施しています。

役員会議では次号つうしんの企画までを行い、以降は広報部が完成までフォローします。16年3月から始めた1回／年の他館視察ボランティア研修では、東京・新潟・仙台など日帰りで研修できる施設を選択した後、企画部が中心となり交流会を含めた詳細を決めます。

当初S.P.Vの組織は、4グループに構成されていましたがグループ間の人的バランスが崩れてきたために、26年2月から3グループに組織替えを行いました。

S.P.Vの活動はふれあい科学館に寄り添っての活動が基本ですが、17年後半頃から市民からの要望に応じて地域公民館や各種イベントに出向く、出張活動を行っています。出張活動の回数は順調に増えていましたが,23年の東日本大震災と原発事故以降こども達の屋外活動が激減して今だ立ち直っておりません。

つうしんは各種公共施設等に配付し広く市民へPRしており、会員にはつうしんと役員会議事録を掲示することで、科学館と会員相互の理解と信頼を確立し、加えて3グループ間の情報共有によって活動の透明性と友好性を得ています。

☆総務部会リーダー 案内グループ 久野　功

平成28年度 S.P.V.の新たな仲間たち

科学グループ Y.A

会社を卒業したら、何かボランティア活動に参加したいと思っていました。科学ボランティアで活動していた友人の薦めもあり、何も分からないまま、昨年の秋から科学ボランティアとして登録させていただきましたが、11月中旬に転んで右手首骨折、お休みしていました。リハビリを兼ねながら春から復帰、ようやく活動開始です。おっちょこちょいな私ですが、よろしくお願いします。

科学館の中だけでなく、科学館以外の出張活動にも参加させていただき、子どもたちと一緒に工作し、お話しして、元気をたくさんいただいています。
また、勉強会、ミーティングでは、今までとは違う新鮮な驚きをいっぱい感じ、ワクワクドキドキの連続です。

これから先輩ボランティアの方々と子どもたちと活動の中で科学について楽しく学んで工作して、健康でステキな時間を作っていけたらと思っています。

科学グループ 大堀裕子

「そろそろ今年あたりからどう?」以前から科ボラに誘ってくれていた友人に声を掛けられていたのは、今年の4月でした。友人からいつも、活動の様子や楽しそうな話を聞いていたので、「面白そうだなぁ。」という興味だけで参加しました。

7月からの活動は、出前と館内の活動がそれぞれ一回ずつだけですが、子どもたちのキラキラ光る眼にとても緊張しました。でも、「できたー。」「やったー。」という歓声と笑顔に接し、私も一緒に嬉しくなりました。

一人でも多く子どもたちが笑顔になれるように活動していきたいと思います。

科学グループ 古張智子

私は3月に退職しました。30年以上時間と仕事に追われ、走り続ける生活だったので4月からの生活に多少不安がありました。

いよいよ4月。これからは時間とお金が許す限り「やりたい事をしよう」「行きたい所には行こう」「人との出会いを楽しもう」と考えました。そこで出会ったのがスペースパークのボランティアです。先日は来場者とスライムを作りました。子どもはもちろん大人もあのムニュムニュ感を楽しんでいました。

先輩ボランティアの言葉「細く長く続けましょう」。無理せず、私のできる範囲で頑張って人との出会いを楽しみたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

科学グループ 谷垣和俊

【入会の動機】
科学館を気にいったから。館を案内してくれるお姉さんたちが明るく可愛い。接遇がいい。宇宙服みたいな制服もかわいい。自然科学に興味があったから。仕事に役立つから。
【長所】会長にイケメンと言われた。
【特技】折り紙を少ししたが先生がたくさんいたので教えてもらう。数学、物理学が好き。
【今後の抱負】何度か活動してみて体力が必要とわかった。自信なさそうな子に教えたい。挨拶がなくても腹を立てない。カウンターにきてくれるだけで勇気だから。

科学グループ 橋本ゆい

わたしがS.P.Vを知ったきっかけは展望ロビーでの掲示を見てでした。少しでも色々な人と交流する機会が欲しくて参加してみようと思い、今回入会させていただきました!

私自身幼い頃からスペースパークを利用していて、とても親しみやすくいろいろなことを学べる施設だと思っています…!

手先はあまり器用ではないですが、小さい子と遊ぶことがとても好きなので、自分も楽しめる活動をしていきたいです!

今号のきら星さん

科学グループ 五島邦夫・ナヲ子

還暦を迎え、人生の節目として何かをやってみようかの思いもあり、S.P.Vに入会致しました。S.P.V活動に参加してみると、子供達を相手に工作の助言やお手伝いをしていくのですが、子供達が自分の手で作品を完成した達成感や喜びの笑顔を見ると何とも言えない気持ちになり、私たちも笑顔をもらい楽しく活動させて頂いて居ります。

私は元々ものづくり（工作）が趣味の様なものなので、街中で私にも出来そうなちょっとした面白い物（特に木工品のような物）を見付けると、直ぐ挑戦してみたく成り実戦して居ります。又その木工品を紙工作で出来る様にアレンジしていくのも楽しいです。

私達の持っている技術やアイデアを生かせる良い機会に巡り会えたと思って居りますので、これからも健康に気を付けて細く長く活動出来れば幸いに思います。